

読者のお便りから

○久しぶりに同志社時報を手にし致しました。特集の「キリスト教、宗教、同志社」に興味を持ちました。建学の精神が薄れていると聞いておりましたが、まだ真剣に取り組んでおられる方々がおられるという気が致しました。しかし、宗教学が必修でなくなったのは驚きです。経済至上主義の中で悩んでいる人、疑問を持っている人は大勢います。キリスト教に限りませんが広い意味での宗教学を学ぶ機会を与え「良心」を考えることをぜひ必修にしてください。これは同志社にしかできません。

(東京都 高木康彦)

○「天にいます神さま いまここで」ただくご飯を 感謝します アーメン」この祈りの歌は、約70年前に私が通った神戸の教会幼稚園で教わったもので今でも即座に口をついて出て来る。「キリスト教・宗教・同志社」の特集を読んで大いに感ずるものがあった。キリスト教を立学の精神とする同志社へ入ったが、私には幼稚園で歌ったもの以上の宗教的な感慨を同志社から得たようには思われない。明治の初めフランス人修道女により設立された東京のカソリックの女学校を

出た亡母が私に母校を語ったように、子供や孫達に同志社の宗教心について語る事が出来ないのが残念だ。司馬遼太郎は「同志社はミッシヨンスクールではない」と書いた。彼は、宣教師を作る目的で外人により設立された多くの学校と比べて、日本人の新島が、一国の良心たるべき丈夫を作る目的で設立した同志社を高く評価したのである。

(神戸市 田中康稔)

○同志社時報は40年前の学生時代から読んでおります。大学、大学院と同志社で育てていただき、現在、大学教師をやっていますが、自分の大学で改革の動きが求められるといつも同志社大学のかつての自分の育った雰囲気の自由な勉学の世界がモデルになっています。自分が教えられた先生方(社会学科)もほとんどお亡くなりになり同志社の学部組織も変更になりました。貴誌が数少ない母校とのかばそいつながりの手段です。楽しみにして待つております。

(愛知県日進市 山本正和)

○2006年No.122特集「同志社小学校に期待する」を興味深く読みました。左巻健男教授(女子大学現代社会学部)の鋭い指摘には特に感銘を受けました。

とりわけ「日本の小学校は本当はこんなことやった方がいんだよ」という具体的なことを何か三つ四つでも打ち出して世間に向けてアピールできればということですよ」という意見にはまったく同感です。「当たり前のことができるようにする教育」ではメッセージとして弱いのではないのでしょうか。というかそれは親がしつけることでしょ。はつきりしたものを打ち出して欲しいと思います。アエラでさらさら輝く卒業生を紹介されていますが、同志社という学校自体も混迷する時代に人を正しく導けるよう夜空に煌く星のように輝いて欲しいと思います。

(横浜市 笠誠一郎)

○「同志社科目」という同志社の特徴を活かすことになる科目があるようです。以前から「日本の近代化と同志社」という歴史を学ぶ科目を私は知っていますし、受講していました。自分の大学の歴史を詳しく学ぶというのは学生に対する押しつけではありません。あたりまえのこととして全学生必修の科目にするべきところは全私立大学で必修にしているところはおそらくまだ無いでしょう。同志社がまずやるべきです。

(大阪府松原市 大西正巳)

お知らせ

同志社創立132周年記念 Reunion

同志社大学ホームカミングデー2007

“精神に帰る一日”

卒業生の皆様の思い出多き“今出川キャンパス”にお迎えし、旧師や旧友との再会、現役学生の活動をとおして母校との「絆」をより深めていただく機会となることを願い、8回目を数える「同志社大学ホームカミングデー2007」を開催いたします。

◆日時 2007年11月4日(日) 10時～16時45分

◆会場 同志社大学 今出川キャンパス

■主なプログラム■

・開会式 10:00～ 同志社礼拝堂 ・講演会 11:15～12:00 講師：八田英二学長

・卒業生交流レセプション 12:30～13:45 (会費制)

・野点 ・学生による模擬店 ・アトラクション

・施設公開 ・キャンパスツアー ・閉会式 16:30～

*ご来場の同志社大学卒業生の方には、記念品をご用意しています。

*開会式・卒業生交流レセプションは、「同志社創立132周年記念リユニオン」と合同開催行事。

◆お問い合わせ先 同志社大学校友課

TEL.075-251-3009/FAX.075-251-3097 E-mail. ji-koyu @ mail.doshisha.ac.jp

第32回Neesima Room企画展

大正デモクラシー期の同志社 原田助総長と海老名弾正総長の時代

〈期間〉2007年10月1日(月)～2008年2月29日(金)

〈時間〉10:00～17:00(土・日曜日は16:00まで)

〈場所〉Neesima Room

(同志社大学今出川キャンパス・ハリス理化学館2階)

〈閉室日〉祝日、2007年11月29日、

12月23日～2008年1月7日

公開講演会

「大正デモクラシーと海老名弾正

—吉野作造との関係を中心として—

講師／關岡一成(神戸市外国語大学名誉教授)

2007年10月27日(土) 13:30～14:30

ハリス理化学館2階会議室(同志社大学今出川キャンパス)

お問い合わせ先 同志社社史資料センター Tel. 075-251-3042

E-mail:ji-shasi@mail.doshisha.ac.jp

